

No.272

2023年
5月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

《 展示のご案内 》

展示期間 5月25日(木)まで

★メイン展示

『こどもの読書週間 4/23-5/12』

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）に始まりました。小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとっても大切なことです。

「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手渡す週間でもあるのです。

そこで今回の展示は、

- ・こどもの本総選挙（歴代）
- ・絵本屋さん大賞（歴代）

という2つのコーナーを用意しました。



●メイン展示図書(抜粋)

- 「ざんねんないきもの事典」「整理整頓」
- 「おしりたんてい むらさきふじんのあんごうじけん」
- 「ふしぎ駄菓子屋銭天堂〔1〕」「だるまさんが」
- 「ママがおばけになっちゃった!」「つみきのいえ」

★サブ展示

『SNS活用』

SNSを利用されている方、多いのではないのでしょうか。映える写真の撮り方や動画の編集など悩みますよね。そこで、SNSに関する様々な本を集めてみました。



●サブ展示図書(抜粋)

- 「親子で学ぶスマホとネットを安心して使う本」
- 「55歳からのフェイスブック入門」
- 「おいしいかわいい料理写真の撮り方」
- 「おしゃれなライフスタイル動画撮影&編集術」

寄贈いただきました

★図書カードの寄贈

国際ソロプチミスト幡多様から図書カード3万円分を寄贈していただきました。

ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

甘酒のほん

藤井 寛 著
山川出版社

疲労回復・免疫力向上・腸内環境をととのえるなど、様々な健康効果があり「飲む点滴」「飲む美容液」と称される甘酒。その滋味豊かな味わいと旨味は古くから日本人を魅了してきました。

そんな日本人の財産ともいえる甘酒の魅力を徹底紹介！甘酒の歴史から、発酵・作り方、アレンジレシピなど暮らしに取り入れたい情報が満載。全国各地の甘酒を用いたユニークなお祭りも紹介の、読んだ後には甘酒が飲みたくなる一冊です。

(児童)

ビジュアル「生きる技術」図鑑

かざま りんぺい 著
子供の科学編集部 編
誠文堂新光社

災害が起きた時、便利な道具が手元にならない時、あなたならどうしますか？

この本は、生きるための技術がイラスト付きで、子どもにもわかりやすく紹介されています。火のおこし方など、防災でもキャンプでも使えるテクニックがいっぱい！ぜひ、親子で楽しみながら身につけてみてはいかがでしょうか。

(一般)

殺戮の狂詩曲

中山 七里 著
講談社

「弁護士・御子柴礼司シリーズ」第6弾。劣勢の状況下でも、確実に減刑を勝ち取る敏腕弁護士。そんな御子柴には、少年時代に世間を震撼させた暗い事件を起こした過去が…。

今作は高級老人ホームで起きた、入居者が次々と殺害されるという凶悪事件。なんと犯人はそこに勤務する介護職員。ほぼ勝ち目のない裁判、御子柴は法廷でどう弁護していくのか。

(児童)

キャンピングカーのたび

みねお みつ 作
福音館書店

主人公の男の子とお父さんは、星空がきれいなキャンプ場へ、キャンピングカーで出かけます。途中、山の中のキャンプ場で、いろんなタイプのキャンピングカーを見せてもらえて…。

車の中で暮らせるキャンピングカー。ご飯を食べたり、くつろいだり、寝たりすることができて、まるでお家みたいです。

今、人気のキャンピングカーに詳しくなれる絵本です。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

お遍路さん再び

山下量子

山の緑が芽吹き、ようやく春になったなと思う。4月から5月にかけての季節は、私の一番好きな季節であり、山々の美しさに魅了される。

そんな中、去年と明らかに違いがあったのが、外国人お遍路さんだ。4月になって私の副業のゲストハウスに外国人お遍路さんが、急に連日来るようになった。逆に言えば、今までコロナで動けなかったお遍路訪日客が再び来られるようになったのだと思う。

外国人お遍路さんの国はさまざま、デンマーク、ドイツ、フランス、スイス、イギリス、カナダ、オーストラリア、チェコ、マレーシア、中国、韓国などと多岐にわたる。特にデンマークでは、ある四国遍路のドキュメンタリーが公開され、それを見て沢山の人が四国遍路を訪れているという。

私は自分の趣味で、OKな人には、1分間ほどのミニインタビューを外国人お遍路さんにさせてもらっている。それらはいずれYouTubeの「Voices of 100 Pilgrims(100人のお遍路さんの声)」というチャンネルで公開する予定だ。

お遍路さんとの出会いは一期一会、そう思っているが、インタビューされる皆さんも、自分の記念になって嬉しいと喜んでくれたりする。

お遍路さんのお客さんの中でも、印象的だったのは、60代女性のデンマークからのお客さん。歩き遍路の途中で転んで肋骨が折れ、ドクターストップがかかったというのに、頑張っただけで歩いてきた。荷物だけはタクシーなどに乗せて、先に宿に届け、自分は歩いていくのだという。

マレーシアからの若い男の子も印象的だった。昔からお遍路をやりたいと思っていたがコロナで断念していたところ、母親がコロナによって亡くなった。今は母の幸せを願って歩いているという。

四国遍路では「同行二人」という言葉があるが、それは、弘法大師とともに歩くという意味もあるが、亡くなった故人と歩くという意味もあると、38番札所の金剛福寺の住職に教わったことがある。そのことを伝え、「お母さんも一緒に回られて喜んでいらっしゃるでしょうね」と言うと、彼は涙ぐんで、「ありがとうございます。ここに来られたことに感謝します」と、私に向かって合掌した。

一ヶ月前には、ニューヨーク在住のロシア人女性がお遍路を回っていた。話を聞くと、ロシアが戦争をはじめ、動員令で自分の弟が戦地に行かざるをえなくなったと。不安と心配でしょうがないと涙を流した。誰も戦争なんか望んでいない、早く戦争が終わるようにと、四国遍路で平和を願って回っているという。

あるフランス人女性が一人で私の宿にやってき

たときは、フランス語で「bienvenue(ようこそ)」と書いてあるウェルカムボードを見て、泣いた時もある。その頃はまだお遍路さんが少ない時期だったので、とても孤独に歩いていたのだろう。フランスで自分の旦那さんを亡くし、悲しい思いをしていたが、四国遍路を歩いている最中に、悲しみが癒やされてきたと言っていた。

ある若いフィンランドの姉妹。その姉妹もまた、父母を亡くし、生前、父母がしていた四国遍路をしに来たと話してくれた。その姉妹は、英語をあまり話せず、私がフィンランド語を話せたらもっと会話できたのになと、少し悔やみが残った。

外国人は、トレッキング感覚で四国遍路をしているのだろうと思っていた私は、このほど、私は全く間違っていたと感じている。

彼らは時に涙を流すほど、心に抱えているものがあり、一生懸命、自分の心と向かうために歩いたり、平和を願ったり、大事な人の死を乗り越えるために歩いたりするのだ。

インタビューを続けながら、私は、こうした外国人お遍路さんの心に、少しでも触れられることが嬉しいと思うし、少しでも温かい言葉をかけることが出来たらと思っている。

インタビューでは、「どうやって四国遍路を知ったのか？」と聞くこともあるのだが、そこで外国人の3人に1人は共通して答える内容があった。

それは「カミーノ・デ・サンティアゴを回って四国遍路を知った」という内容だ。

カミーノ・デ・サンティアゴは、スペイン北西部のサンティアゴ・デ・コンポステーラを目指す巡礼のことだ。巡礼路は、その一部が世界遺産にも登録された歴史ある道で、2022年にカミーノ巡礼を訪れた人は約43万8000人にのぼると言われている。昨日来たドイツ人のお客さんも、この巡礼を歩いていたときに日本の四国遍路について知ったそうで、興味を持って来たとのこと。

カミーノ巡礼には、アルベルゲという巡礼宿がある。その彼は、一部屋に30人ほどが眠る簡易ベッドで寝たりしていたそうだが、他人のいびきで眠れないことがあったという。日本の宿はのびのびと寝られるから嬉しいと言っていた。

カミーノ巡礼者が増えるにつれ、四国遍路もまた訪れる人が増えるのではないかと私は予測している。四国遍路を世界遺産登録に進める動きもあるが、まずは町や人々が外国人遍路さんに対して、より理解があり優しい町になれば嬉しいなと私は思っている。

～新着図書のご紹介～

一般図書



- 0 「デジタルアーカイブの新展開」 時実象一
 1 「怒らない100の習慣」 戸田久実
 2 「102歳、一人暮らし。」 石井哲代
 2 「車中泊で桜と日本一周」 地球へ途中下車夫婦
 3 「なぜか感じがいい人の聞き方100の習慣」 藤本梨恵子
 3 「おひとりさま最後の片づけ」 杉之原富士子
 3 「学校に行けない子どもの気持ちがわかる本」 今野陽悦
 3 「学校がしんどい先生たちへ」 ゆきこ先生
 3 「江戸の衣装と暮らし解剖図鑑」 菊地ひと美
 4 「子どもと一緒にふしぎを見つける科学のなぜ？なに？さんぽ図鑑」 本田隆行
 4 「「冷え症外来」の医師が教える冷えとり習慣」 林忍
 5 「困りごと解決！家事ワザ262」 かおり
 5 「子どもにかかるお金の超基本」 坂本綾子
 5 「朝は詰めるだけ！かなさんの10分弁当」 かな
 6 「大きな字でわかりやすいiPhone超入門」 岩間麻帆
 7 「こどもNHKソング&あそびうた全集」
 8 「絶対英語の口になる！」 長尾和夫
 9 「館内すべてお雛さま。」 川上弘美
 9 「マリコ、東奔西走」 林真理子

※左側の数字は図書の分類を表しています。
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「かしこい脳が育つ！1話5分おんどく伝記1年生」 加藤俊徳
 「そんなわけで都道府県できちゃいました！図鑑」 粟生こずえ
 「これから科学者になる君へ」 寺田寅彦
 「めんどくさい図鑑」 小学館クリエイティブ
 「しんかい6500」 山本省三
 「かえでちゃんとひみつのノート」 大久保雨咲
 「森のちいさな三姉妹」 楠章子
 「家のおばけずかん ハイ！」 斉藤洋
 「西の果ての白馬」 マイケル・モーパール

絵本



- 「ジャッキーのしあわせ」 あだちなみ
 「タヌキのキヌコ」 とみながまい
 「すいぞくかんのおいしゃさん」 大塚美加
 「そらめくんのいっしょにあそぼ」 なかやみわ
 「リサとガスパールのレストラン」 アン・グットマン
 「くもくもじまのカミナリいっか」 富安陽子
 「おはなこしよこしよはっくしよーん」 フフフーン
 「ちきゅうのかいだん」 松岡たつひで
 「いっぴきおおかみとおほしさま」 まつむらまいこ
 「5ひきのくまさん」 キャサリン・レイナー

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

5月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日・祝 10:00～18:00
 ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp

■は休館日



【図書館HP】

